



## 名取市復興達成宣言

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、地震とその後に発生した大津波により、本市沿岸地域を中心に未曾有の被害をもたらしました。

名取市は、復興への想いとして「心からの笑顔を求めて、新たな未来へ」を掲げ、平成23年10月に名取市震災復興計画を策定しました。互いに支えあい、強い絆で結ばれた暮らし、それを支える生業の再生、そして、多様な世代が安全に安心して暮らせるまちを目標に、市民・地域・企業・関係団体・関係機関など名取市を構成する方々、さらには、本市を応援していただいた日本国内はもとより世界各国の皆様方とともに、9年間にわたり懸命に復旧と復興に取り組んでまいりました。

復興沿岸地域におきましては、今後も取り組むべき課題はあるものの、住まいの再建、被災事業者の再建、そして、インフラ整備や公共施設の災害復旧など、まちの再生に必要な機能が整いつつあります。また、宅地の嵩上げ、多重防御、避難道路の整備など、津波に対する安全対策についても、一定の進捗を見たとところであります。

このように、基盤整備を伴う復旧・復興事業が概ね完了したことから、これを一つの節目として市の事業推進体制を一新し、令和2年度を初年度とする新たな第六次長期総合計画のもと、「愛されるふるさと なとり」を共に創り、未来へつなぐ、次のステージに進んでまいりたいと考えます。

東日本大震災に関連する次の施策に引き続き取り組んでいくことをここに表明し、名取市が震災からの復興を達成したことを宣言いたします。

- 一 被災者の心のケアと復興沿岸地域のコミュニティ醸成に取り組めます。
- 一 震災の記憶と教訓を風化させないよう意識の醸成を図るとともに、防災・減災施策を推進し安全・安心なまちづくりに取り組めます。
- 一 地域産業の再生・発展に取り組めます。
- 一 閑上地区及び下増田地区の防災集団移転元地への企業誘致など土地利用を推進します。
- 一 閑上地区への定住促進、沿岸地域への交流人口の拡大に取り組めます。

令和2年3月30日

名取市長

山田 司郎